

特別支援教室のお便り

6月号

杉並区立高井戸第四小学校

特別支援教室拠点校

たかし教室直通03-5336-9522

特別支援教室の指導が始まり一か月半がたちました。新しい環境にチャレンジすることは子供たちの成長にとっても大切なことではありますが、慣れるのは大変に感じることもあります。お子様の頑張っていることをたくさん認めていきたいと思えます。日々の成長の様子、保護者の方の願いや今後のことについて考えながら指導していきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

7月の予定

1学期の指導終了日 7月16日(火)



特別支援教室の学習形態について

特別支援教室の指導形態には、小集団学習（みんなの時間）と個別学習（じぶんの時間）があります。

個別学習（じぶんの時間）は、個々の子供の特性に応じて課題設定や教材の準備が可能です。そのため、子供との関係性を築きやすく、心理的な安定も図りやすくなります。また、子供のその日の状態に合わせて、指導内容や方法を臨機応変に対応できます。短時間で達成できる課題や取り組みやすい課題から始めますので、児童が達成感を味わうことができます。

個別学習の実践例

- ・ ソーシャルスキルトレーニング、アンガーマネジメント
- ・ 制作活動（ビーズ制作、プラバン制作など）
- ・ 粗大運動（バランスボール、ドッジボール、サッカー、バスケットボール、卓球など）
- ・ 読み書き、読書、国語（コグトレ、きくきくドリルなど）
- ・ ビジョントレーニング



小集団学習（みんなの時間）は、子供同士の関わりから人間関係や対人関係を学ぶことができます。集団のルールや決まりなどを設定して、それを守る経験を積むことができます。共同制作などを取り入れて、子供同士で話し合ったり手本を示したりすることができます。また、異年齢で集団を編成することで、リーダーシップを発揮したり、責任感を育てたりすることもできます。

小集団学習の実践例

- ・ 連想クイズをしよう
- ・ 友達ビンゴをしよう
- ・ オリジナルのトートバックを作ろう
- ・ モザイクタイルアートを作ろう
- ・ 友達と協力する運動をしよう
- ・ 風船バレーをしよう
- ・ 書を楽しもう
- ・ 様々な仕事に出会おう



特別支援教室では、子供の特性に応じて個別学習と小集団学習を適宜組み合わせで行っています。教育効果が高められるように、教材の準備や授業展開を工夫・改善しています。子供の興味を引き出し、活動を通じて達成感を感じられる授業作りに努めています。



◎小集団学習「みんなの時間」

「スピード、観察力、反射神経を競う」

- ・絵を見て同じ形を判断できる。
- ・集中して取り組める。
- ・友達とコミュニケーションを取ることができる。

「協力神経衰弱、指先まで意識しよう」

- ・友達と上手に話し合いを行い、答えをまとめることができる。
- ・力の強弱や調整ができるようになる。
- ・コミュニケーションを取りながら活動を楽しむことができる。

「友達と協力する運動」

- ・状況や友達の動きをよく見て、自分の動きや関わり方を調整しようとする。
- ・友達の意図や気持ちを想像しながら、協力しようとする。
- ・ルールを理解し、運動を通して友達とのコミュニケーションを楽しむ。

「新聞紙を使って活動しよう」

- ・手先を使って新聞を折ったり、切ったりすることができる。
- ・友達と話し合い、協力して活動することができる。
- ・最後まで集中して活動に取り組むことができる。

◎個別学習「じぶんの時間」 目標や活動の内容、その他

Blank area for individual learning goals and activities.